

# 緑の宝



2003  
新年号  
No. 26



駿府公園越しの富士

## 目 次

会長あいさつ 社団法人 静岡県造園緑化協会 会長 西野勢作	P2	グリーンバンク設立25周年記念植樹祭開催	P7
知事あいさつ 静岡県知事 石川嘉延	P3	片桐西部支部長トピアリー製作講座開催	P7
部長あいさつ 静岡県環境森林部長 花岡志郎	P4	農業高等学校実習生リポート	P8~9
浜名湖花博ごあいさつ	P5	この木なんの木?・浜名湖花博設計コンペ開催要領	P10
自然渓谷をモチーフにした長島温泉視察	P6	造園施工管理技士会だより	P11
		「緑・花文化知識認定試験」無事終了	
		特別寄稿／上高地歴史 技士会会长 乗松文男	
		話題の森・お知らせ・編集後記	P12

題字／技士会会长 乗松文男

# 会長あいさつ



社団法人 静岡県造園緑化協会 会長

西野勢作

あけましておめでとうございます。

今年は例年と違い会員の皆様にはそれぞれに格別の思いで新年を迎えた事だと思います。バブル崩壊後十余年を数えますが、いまだに景気回復の兆しが見えず将来の不安を一段と募らせております。国家の財政はもとより県や市町村に至るまで税収不足で財政破綻のピンチにあります。失業率も過去最高の5・5%を記録し、廃業、倒産そしてリストラにより今なお増え続けております。財政赤字による公共工事の縮減、工事量の削減の結果、採算性を度外視した闇止めの効かない熱い過当競争となり、見識や裁量を見失い、判断のつかないエゴイズムにどっぷりと漬かった状態が生まれて來ました。価格で利益を追求する余り優秀な人材と優秀な技術者にあいそをつかされ、次代を担う若者に門前払いを食わせたこのケは将来重くのしかかつて来る事は間違ありません。安定した受注量が確保出来ず、暗く先の見えないトンネル時代ですが、協会員にとっては今年は国際園芸博覧会の会場整備の最終段階に入り、メイン会場の整備、出展展示場の製作等々急ピッチで始まります。外国の庭園出展も二十ヶ国を数え技術者にとってこれ程の腕の見せ場はこれが

ら先もまざないと思います。浜名湖花博の成否は造園業界にとって将来を見据えた死活問題になりかねません。静岡県の経済活性化につながる一翼を担う一大イベントで

あると同時に造園業者、園芸花卉業者振興の為の催しであると云う認識をもつと強く自覚し、この園芸博覽会に全力投入しなければなりません。会員の皆様には自分の事として適確に捉えていただき造園業界の将来展望を見据えた高い見識と御理解を深めていただきたいと思います。

このイベントの成功を念じ、イベントが終わるまで氣を抜かず大いに宣伝をしていただき、成功への道の礎となつて戴きたいと切にお願いいたします。

最後になりましたが今年は県議員の顧問の先生方の避けては通れない大変きびしい選挙と言う洗礼が待つております。先生方の全員上位当選に向け全会員皆様方の積極的な御支援をお願い申し上げます。

私造園緑化協会にとって浜名湖花博を始め国体、静岡空港、第一東名等緑化という大きな課題とビジネスチャンスを抱えております。関係官庁の皆様方のあたたかい御指導と御鞭撻を切にお願い申し上げると共に会員の皆様の御健

## 樹木余話

■シモバシラ(シソ科)  
写真を見て何だ、雷柱じゃないかと思わないで下さい。草の名前が「シモバシラ」なのです。

シソ科の多年草で、山の木陰に生え、葉は四角で、高さは四〇~一七〇センチにもなり、初秋の九~十月に小さな白い花を開き、花ひらから突き出した雄しべは猫のひげのよう。

冬、地上部が枯れてからも毛管現象で水分がよく上昇する、地表が氷点下になると、上昇した水分が凍つて霜柱のような結晶が出来ることが名前の由来。



シモバシラに出来た霜柱

# 知事あいさつ



静岡県知事

石川嘉延

富富有徳

しずおかの挑戦

明けましておめでとうございます。

皆さまには、健やかに新年を迎えたこととお慶

び申し上げます。  
今、世界は、地球環境問題、資源・エネルギーの制約など、さまざまな課題を抱え、また、わが国も、少子・高齢化の進展、経済情勢の変化、社会全体の規範意識の低下等に直面し、社会の仕組みの大改革が求められています。

こうした中で、経済や人口の面で一国に匹敵する規模を持つ静岡県には、課題や危機を克服し、活力ある美しい未来を拓く先駆者としての役割を果たすことが期待されます。このため、富士山の豊かさと気高さを中心の指針に、県政の基本理念として「富富有徳」を掲げ、豊かな快適空間と有徳の志が織り成す「魅力あるしづおか」の実現を目指し、県民の皆様とともに挑戦してまいります。

## 樹木余話

■ マンサク(マンサク科)

葉もまだ開かぬ早春、クラッカーハーブのような黄色の風変わらな花を開く。そのうえ、がく片花弁、雄しがく個ずつと四つづめときている。よく

見ると手足を動かして踊り狂っているようにも見える。

名前の由来は、早春、万花に先がけて「先づ咲く」が名づけられたといわれる。漢字の満作は、枯れ木にまるで花が咲いたように枝一杯

に開花するからという説もある。

豊年満作にかけて緑起木として、また、早春の花木として庭園に植栽されるが、切花にも用いられる。本年こそは景気も回復、豊年万作のよい年でありますように。



# 部長あいさつ



静岡県環境森林部長

花岡志郎

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には希望も新たに、よい新年を迎えたることとお慶び申し上げます。

また、日ごろから本県の環境緑化行政の推進に多大なる御尽力をいただき、紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

環境問題は、廃棄物処理の限界、有害化学物質による環境汚染や森林の荒廃、生態系の乱れなどから地球温暖化まで、多様化、複雑化しております。これを解決するには、大量生産・大量消費・大量廃棄を前提とした従来の経済社会システムを見直し、資源の高度な循環やエネルギーの効率的利用に支えられた持続可能な社会を構築することが必要であります。

こうしたことから、県では従来の県の環境基本計画を見直し、昨年二月に新たに環境基本計画を策定したところであります。

この計画では、循環型社会の確立、水環境と大気環境の保全、森林が持つ多目的機能の持続的な發揮、都市部

の緑地や親水空間を確保しうるおいのある都市空間を創出するための施策など、「十一」の施策展開の基本方

向を示し、限りある環境の恵みを今の世代と将来の世代が共に享受できる持続可能な社会づくりを目指しておりますが、これを確かなものとしていくには、行政のみならず、企業、県民の皆様が環境保全に対する取り組みを行っていくことが何よりも重要であります。

貴协会会员におかれましては開幕まで五〇〇日を切りました「しづおか国際園芸博覧会「浜名湖花博」」会場内など、県内各地の公園や道路などで施工される緑化工事において高い技術力を發揮して頂いているほか、公園緑地や街路樹の管理作業において発生した剪定枝条を堆肥化し、リサイクル利用されているとお伺いしております。

こうした環境負荷の軽減に配慮した都市の緑化推進に対し、深く感謝申し上げます。

結びに、貴会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈りし、あいさつといたします。



## 樹木余話

■コズリハ(ユズリハ科)

ユズリハは「語り葉」の意で、春に新葉が展開する頃になると、古い葉はそれを見届けるかのように活動的場を新葉に譲つて落ちていく。

正月にユズリハを飾るのは、このような植物の生態にあやかって、親は子に譲り、子は孫に譲り、子々孫々相繼いで一家が絶えないように祈った。それでみたい本とされ、今でも正月とともに門松を始めいろいろな飾りの利用されている。

高さ十メートルほどの常緑樹で庭木としても和風庭園によく利用される。耐寒力が弱く、剪定を嫌う。自然のままでよくまとまるので、剪定は最小限にしたい。

# 浜名湖花博

10月22日、(財)静岡国際園芸博覧会協会 村松靖則事務局長、キャンベンガール2名のキャラバンが、園芸博と前売り券PRのため、協会名誉会長である石川嘉延静岡県知事、鈴木修協会会長のメッセージを携えて来所。

村松事務局長から、浜名湖花博への支援、協力と前売入場券販売への協力を請があり、西野県造園緑化協会会長が、「我々の祭典という認識で全面的に協力をさせていただく、前売入場券も協会で15,000枚以上を目標に努力中である」とキャラバン隊を激励。メッセージの全文は次のとおりです。

浜名湖花博PRキャラバン隊来所

## ごあいさつ

皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、来たる2004年4月8日から10月11日までの187日間、浜名湖のほとりで浜名湖花博（正式名称：しづおか国際園芸博覧会「パシフィックフローラ2004」）を開催いたします。

私たちは、身近な花や緑からさまざまな恩恵を受けてまいりました。花や緑には、時代を超えて私たちを魅了する不思議な力があります。季節を彩る花の色や香りからは潤いや安らぎを、陽射しに映える緑からは大いなるゆとりや活力を感じることができます。このような花と緑の力を活用して、新たな暮らしの創造や新産業の育成を推進していくことを考え、この博覧会を開催することといたしました。

浜名湖花博は、国際園芸協会(AIPH)の正式承認を受けた国際園芸博覧会で、浜名湖のほとりに広がる5.6ヘクタールの会場に延べ500万株の花と8万本の樹木が勢揃いして彩りを競います。伝統文化と先進テクノロジーが織り成す多彩な展示を通じて、自然と調和した新しい生活スタイルの創造を目指すとともに、潤いあふれる交流づくり、共感づくりを目的としています。

現在、開幕に向けて着々と準備を進めており、この10月1日から入場券の第一期前売りを開始いたしました。この機会に、浜名湖花博の趣旨、概要を広くご紹介し、さらに多くのご賛同を得るため、「浜名湖花博PRキャラバン隊」を派遣した次第です。

なるべく多くの方に参加いただき、対話・創造・育成型の博覧会を目指す「浜名湖花博」、皆様方のご支援ご協力なくして成功はありません。どうぞ積極的な参加をお願い申し上げます。

平成14年爽秋

(財)静岡国際園芸博覧会協会名誉会長  
静岡県知事

# 石川嘉延

(財)静岡国際園芸博覧会協会会長

# 鈴木修

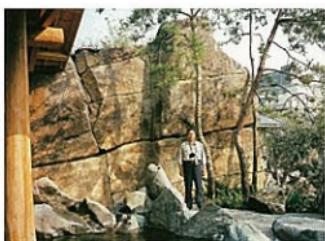
# 長島温泉視察をモチーフにした

本年度の協会と造園施工管理技士会共催の視察研修は、十月四日・五日の両日、三十名の参加者を得て、テレビで連日のよう宣伝されている長島温泉を視察した。長島温泉・湯あみの島は八月一日オープンしたもので、我が協会の技術顧問、柳原八朗氏の設計監理によるものである。氏のガイドで清掃時間帯に女湯も見学でき実のある研修会となつた。



群原顧問の説明に耳を傾ける会員

- モチーフは黒部渓谷と奥入瀬渓流（三三、〇〇〇平方メートル）敷地に、登山ハイキングのメッカ富山県の黒部渓谷と青森県の奥入瀬渓谷をモチーフにした流れが築造されている。黒部渓谷側が男湯、渓谷沿いに五ヶ所の露天風呂と一つの内風呂が、奥入瀬渓谷側が、奥入瀬渓谷側に露天風呂と一つの内湯が配されて豊富に湧出する天然温泉が湯煙りを上げている。
- 使用した石は一万三千トン
- 全体で使用した石は一萬三千トン。产地は岐阜県恵那、三重の尾鷲渓谷、奈良十津川渓谷。最大は単体で四〇〇トン余の巨岩もあり、二〇〇のバーツに割って運



400トンあまりの巨岩

- 搬し、黒部渓谷側に組立て据え付けられている。
- 全長三九〇メートルの渓流に流れの水は毎分八〇トン



アプローチへのアプローチ

は、黒部渓谷側に四〇トン、奥入瀬渓谷側に八〇トン、併せて毎分四〇トンの水が音を立てて流れている。公共工事のモデルが毎分一二三トンであるからその量の大きさが想像できよう。

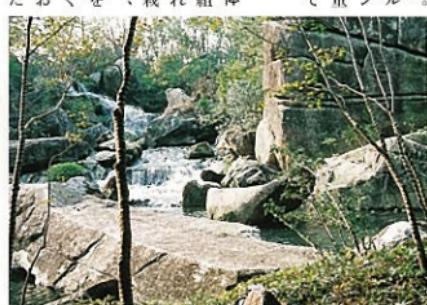


奥入瀬渓流と露天風呂

- 植栽は野木が主体流れ周辺、石組みの間に植栽されている樹木は、栽培されていたものではなく、今まで森林にあったものを移植してある。実にうまく渓谷の森林を表現しており、流れの上に横たわった



横たわるヤナギと奥入瀬渓流



黒部渓谷

ヤナギの大木は、昨日や今日植えた感じはない。数年後は、こんな所にこんな自然があつたのかと錯覚にとらわれるであろう。

# グリーンバンク 設立二十五周年記念植樹祭開催



記念植樹する園児たち

グリーンバンク設立二十五周年記念植樹は、藤枝聖マリア保育園が移転新築に伴つて施工し、園児が中心に二、三ヶ所、花の会等への花種子、苗の配布等を中心に行なわれた。この間、ゴルフアーネット協力金を始めとして寄せられた净財は四十二億七千万円。それによつて緑化された施設は、予算的に恵まれない社会福祉施設等を中心に二、三ヶ所、花の会等への花種子、苗の配布は金額にして六億八千万円に及んでいた。他の県でやろうとしてもなかなか実現できないばらしい制度である。ヒートアイランド現象や地球温暖化が叫ばれる今日、益々、充実しなければならない制度であり、緑化である。

グリーンバンク設立二十五周年記念植樹は、宇佐美初校園長の挨拶に始まつて十一月九日に園児ら多数が参加して行われた。加えて行なわれた。

トライアンド現象や地球温暖化が叫ばれる今日、益々、充実しなければならない制度であり、緑化である。

グリーンバンクが誕生して二十五周年を迎えた。県民から

ちのすむところもふえるね。  
そうだね、もしもいっぱいく  
るしうれしいね。  
一年中、どこかの木でお花が  
さくってすてきだね。



歌と遊戯を披露する園児たち

# 片桐西部支部長 トピアリー製作講座開催



トピアリー製作講座風景



トピアリー製作に取り組む

県下十一の農業高校が共同で浜名湖花博にてトピアリーを製作出展するというとして、協会片桐西支部長が講師に招かれた。

講習会は、静岡農業高等学校で十月十五日に、県下十一の農業高専の教職員が集まって開かれ、(財)静岡園芸博覧会協

会からも川島出展調整課長代理が出席。室内での講義のあと屋外でイヌツゲを使ってトピアリーのトピアリー製作に取り組んだ。先生方が生徒を指導して、さまざまなトピアリーが展出される。今から楽しみだ。

ぼくたち、わたしたち、これからもずっと木を大切にしていきます。  
たくさんの方をお花がさざいました。

# 設立二十五周年記念植樹祭開催



記念植樹する園児たち

グリーンバンク設立二十五周年記念植樹は、藤枝聖マリア保育園が移転新築に伴つて施工し、園児が中心に二、三ヶ所、花の会等への花種子、苗の配布等を中心に行なわれた。この間、ゴルフアーネット協力金を始めとして寄せられた净財は四十二億七千万円。それによつて緑化された施設は、予算的に恵まれない社会福祉施設等を中心に二、三ヶ所、花の会等への花種子、苗の配布は金額にして六億八千万円に及んでいた。他の県でやろうとしてもなかなか実現できないばらしい制度である。ヒート

アイランド現象や地球温暖化が叫ばれる今日、益々、充実しなければならない制度であり、緑化である。

グリーンバンクが誕生して二十五周年を迎えた。県民から

あー木があるつていいね  
みどりがいっぱいだとむした

# 農業高等学校実習生リポート

本年度も農業高等学校の環境系実習生を会員が受け入れた。特に静岡農業高等学校は四十一名の員数となり、中部支部では静岡、清水の会員を中心に十八の会員が受け入れた。以下、実習生の感想文をいただいたので紹介します。

## ●身についた現地実習

静岡農業高等学校  
環境科学科二年 前田さゆり

いろいろな場所へ実習に行って仕事の内容などわかりやすく説明してくれて専門用語を覚えられとてもよい経験になりました。サウスポートやトモノアグリカのビルはとても高く庭園もすごいなと思いました。トモノアグリカの庭園は、市川造園の方が作つたと聞きすごいなと思いました。市川造園の畑での移植は水ぎめのことなど理解できよかったです。

剪定もやりながらわかりやすく教えてもらつて身についたなと思いました。ビデオを見ながらの説明もとてもよく教えてくれたたくさんのこと書きとめることができました。



初めての重機の運転((株)市川造園)

## ●得ることの多かった現場実習

静岡農業高等学校  
環境科学科二年 大塚崇緑

今回の現場実習では、得るものがとてもたくさんありました。チャドクガという虫の名前



チャドクガの防除(不二見造園土木(株))

## ●完成の喜びを味わう

静岡農業高等学校  
環境科学科二年 竹下敦美

この四日間会社に行って授業とはまったく違う事をやって、中には、とても厳しく注意される事もたびたびありました。しかし、そういった事で、何をどうすればいいのかという事がよく分かつて、かえって勉強になりました。今回行ったことで、自分がやりたい「庭師」という仕事が少し分かつた気がします。不二見造園の皆さんは本当にありがとうございました。

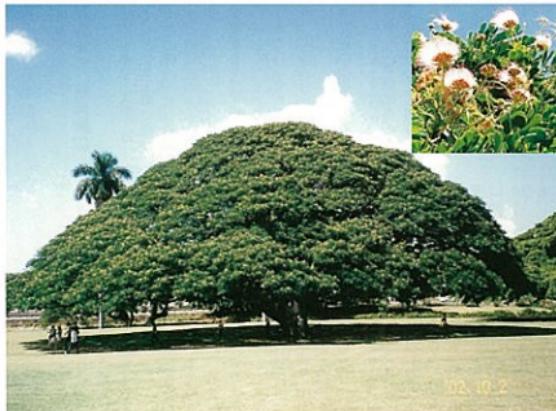


芝張り実習((株)ひかり造園)

れど、とてもいい仕事だと思いました。自分が造ったものが残つて、いろんな人に使用されると思うとても楽しそうです。自分にあたえられた仕事はちゃんとやつたつもりだけれど、事業所の人たちは次の事を考えたりやつたつもりだけれど、事実でした。大きな声でいさつをしたり、返事をしつかりしたり、日常では当たり前の事がとても重要だということが分かりました。一番実習でおもしろかったことは、草刈りでした。今までやつたことがなくして、始めはちょっと大変だったけど、慣れてくれると、とてもおもしろくて一緒に作業をやつていける方も「よく働いてくれて、とても助かるよ」とほめられました。頑張ってよかったと思いました。不二見造園の皆さんは、とても優しくてすごくよく得たことがとても多くあるので、すごくなり、良い経験になりましたとも感謝しています。



## この木 なんの木?



写真右はアーネスト・ヨン「となりのトトロ」でおなじみのトトロのイメージモデルとなつたスギの大木である。推定樹齢七〇〇年。根元は一本八〇〇年、根元には小さな樹高二〇メートル、枝張り一七メートル。根元には小さな樹があり、山形県最上郡鮭川村にあり、村指定の天然記念物となっている。

写真左は民族デレビ  
のコマーシャルでおな  
じみの「気になる木」  
で、中南米を原産地と  
するマメ科の樹木。名  
称はモンキーポッド、  
日本名はアメリカネム  
ノキ。  
（写真撮影：吉田一郎）

山形県最上郡鮎川村  
にあり、村指定の天然記  
念物となつてゐる。

浜名湖花博設計コンペ開催要領

協会では平成十六年に浜名湖畔で

撤収費等を含む。

3 級騒動のトロイア

一四

（1）テレ、木車小屋のある庭  
「木車小屋」を取り込んだ庭園とする。

協会では平成十六年に浜名湖畔で開催される国際園芸博覧会(浜名湖花博)に庭園を出展します。その設計競賽で行なっておりましたので多数の御応募をお待ちしております。

崎工務店が造園緑化協会出展に  
協賛し、約四〇〇万円を投じて

浜名湖花博設計コンペ開催要旨

平成十六年四月八日から十月十一日  
まで浜松市浜名湖畔で開催される「ヒ

用する予定です

で、限られた事業費ではあるが、

な造園材料を吟味、使用する。

出展の設計・施工に最も適した創造力、技術力及び経験を持った会員を選定するため、出展庭園の設計コン

選定するため、出展庭園の設計コンペを行う。

## 2 出展の概要 ①出展期間

○昌原縣圖  
二〇〇四年四月八日—十月十一日  
②出展易所

②出展場所  
浜松市村櫛町浜名湖ガーデンバ

一ヶ内

◎出展面積  
三〇〇m<sup>2</sup>(10m×30m)

④業務内容 企画、設計、監理  
⑤設計費 五〇万円

⑥施工費 九五〇万円(施工、半  
年間の管理、適期の積え替え、

4 企画書の内容(提出書類)

- 5  
 ①表紙  
 ②平面圖  
 ③平面圖  
 ④イメージジャーナル  
 ⑤花材一覧表  
 ⑥見積書  
 A4縦型  
 ①提出期限  
 ②提出部数  
 (※詳細は協会事務局まで)  
 平成十五年一月三日  
 六部(正一部  
 写真五部)

# 造園施工管理技士会だより

## 「緑・花文化知識認定試験」無事終了

本年は公園緑地管理財団が行う「緑・花文化知識認定試験」の管理運営を協会が受託し、試験現場の試験官の任に造園施工管理技士会の常任理事があり、十一月十日、とどろくなく終了した。試験の広報からまかせられた協会では地方紙を通じてP.Rを行った結果、静岡県内の受験希望者は前年度の倍近い一九〇%の四四二名に達した。

この試験は、国の資格を得るためにもので、子どもから大人まで植物名はもとより植物に関する知識文化について楽しく学ぶことを目的に行われるもので、本年は県内で静岡農業高等学校と浜松の静岡文化芸術大学(浜松市)公園緑地協会が管理運営の一役員で実施された。

協会で管理運営を行った静岡農業高等学校では、三五五名の受験申込者中、二〇八名が受験した。

協会事務局と試験監督員の技士会常任理事、監督員補助を依頼した県立大学のアルバイトの総勢十六人



受付に訪れた受験生



試験開始前の注意事項説明

生は、午前九時に試験会場に集合し、午後の一時半に認定される「緑文化知識認定試験」の様子を観察する。試験会場の案内板、教室への案内表示、試験室の席表等の作業を行つて本番に備えた。

全国一斉に配達される試験問題を十二時に受領し、教室ごとの枚数をチェックして、いよいよ、午後二時全国一齊に試験開始。

問題は八問、時間は七〇分。受験



本部での問題集部数のチェック

十時の休憩を利用して何年かぶりに上高地に遊びに行きました。長野駅自転車道を長野市まで降りた途端に車が渋滞しており指定駐車場迄は通常の倍以上時間がかかりました。

午前中で渋滞を抜けて、午後は、前半の「科学と植物」問題と植物のジャンルはやさしかったが後半の「芸術文化」のジャンルは難題であつたと感想をもらっていた。本年で四回目を迎えたこの試験、三回、特級に認定されると「緑文化知識認定試験」の称号が与えられる。今まで全国で二十六名誕生しているが、静岡県にはまだない。四回目で初めて誕生するかどうか、その該当者が三名ある。結果の発表は一月末の予定。

上高地の紅葉は樹が少なめ紅葉と

見えてる人の波でした。これを見ても黄色が主体でその中に所々赤い色が点々して風情がありましたが、帰り道の方で難波が廿二時間長い(三秒)の呼び声にうつられて地元のボランティアの人達が設置してある空き籠鏡で、難波岳の山頂を覗いて見ました。難波岳の山頂が日本で最も早く登頂できるかも知れないが、その結果はまだ決まっていませんでした。

此の日は雲一つない晴天で、真っ青な空の下で、難波岳の山頂近くで、見事な出来事がありました。「登山で十時間長い(三秒)」の呼び声にうつられ、地元のボランティアの人達が設置してある空き籠鏡で、難波岳の山頂を覗いて見ました。難波岳の山頂が日本で最も早く登頂できるかも知れないが、その結果はまだ決まっていませんでした。

上高地の紅葉は樹が少なめ紅葉と見えてる人の波でした。これを見ても黄色が主体でその中に所々赤い色が点々して風情がありましたが、帰り道の方で難波が廿二時間長い(三秒)の呼び声にうつられ、地元のボランティアの人達が設置してある空き籠鏡で、難波岳の山頂を覗いて見ました。難波岳の山頂が日本で最も早く登頂できるかも知れないが、その結果はまだ決まっていませんでした。

上高地の紅葉は樹が少なめ紅葉と見えてる人の波でした。これを見ても黄色が主体でその中に所々赤い色が点々して風情がありましたが、帰り道の方で難波が廿二時間長い(三秒)の呼び声にうつられ、地元のボランティアの人達が設置してある空き籠鏡で、難波岳の山頂を覗いて見ました。難波岳の山頂が日本で最も早く登頂できるかも知れないが、その結果はまだ決まっていませんでした。

特別寄稿

上高地散策 会長 乗松文男



話題の森



花博開幕をPRするモニュメントがお目見え。カウントダウンボードには「500」の文字が浮かび上がった=25日午前10時20分ごろ、JR浜松駅北口広場

# 花博まで500日



「ことを期待している」と  
あいさつした。

浜松駅前に登場

浜松や天竜など浜名湖周辺の市町が展示する浜名湖館の愛称名「フジル」も披露され、入賞者を代表して大谷作さん(浜松東部中二年)に記念品が贈られた。JR浜松駅前では五百日にならぬ松原でガーベラ五百束が市⺠に配られた。

「浜名湖花博」(しづおか  
国際園芸博覧会開幕  
まで五百日)となつた十  
五日、浜松市のJR浜松  
駅北口広場にカウントダ  
ウンボード付きのフラフ  
モニユメントが登場し  
た。  
記念セレモニーで北脇  
保之市長は「準備が着々  
と進み、市民の間でも盛  
り上がりを見せてる  
モニユメントが浜松を訪  
れる人々に親しまれ、花

静岡新聞の十月十五日夕刊に花博まであと五〇〇日と大きく報道された。この新聞が関係者の手元に届く頃にはもう二度と訪れるとのない、いわば祭典である花博の成功に向けて前売券購入の購入も最低一五、〇〇〇枚を目指す力集中である。会員自らの購入と一般の人へのPRと販促促進をお願いしたい。

お知らせ  
新年おめでとつございます。  
本年の賀詞交歎会は、一年二月後にせまつた「浜名湖花博」の開場を観察した後、臨時變会も並んで浜松市で開催いたします。会員名簿をお届けします。

編集後記

 編集後記  
一昨年は、いすゞおか紀・花祭  
を無事成功裡に終えましたが、  
またと思つたら来年はよいよ  
国際園芸博覧会が年を越えるの  
を前に、運営委員会・会員局・事務局  
とも忙を極めることでしよう。  
それでも、春秋、夏秋、冬、四年回の  
会報は必ずすることなく発行を続  
けたいと思います。会員の一層の協力  
をお願いします。

◆ 遠州鉄道ハパンヒツアーバス発着所  
　　● 住往時間もあわせ約二時間。集合  
　　時間に遅れないようお願ひします。

◆ 開催日時  
　　同日 午後十一時十分より  
　　十二時三〇分

◆ 開催場所  
　　JR浜松駅前 浜松市銀座ホテル  
　　議題  
　　浜名湖花博開幕式の購入  
　　予算の件

◆ 新年賀詞交歓会  
　　同日午時  
　　開催場所  
　　臨時総会に同じ